

## 報道関係各位

～第20回日本抗加齢医学会総会にて発表～  
**一卵性双生児104名（52組）を対象にした研究を通して**  
**“100年キレイを叶えていく”ための生活習慣を解明**  
**運動習慣・急激な体重増加・夜勤・運動歴などが影響**

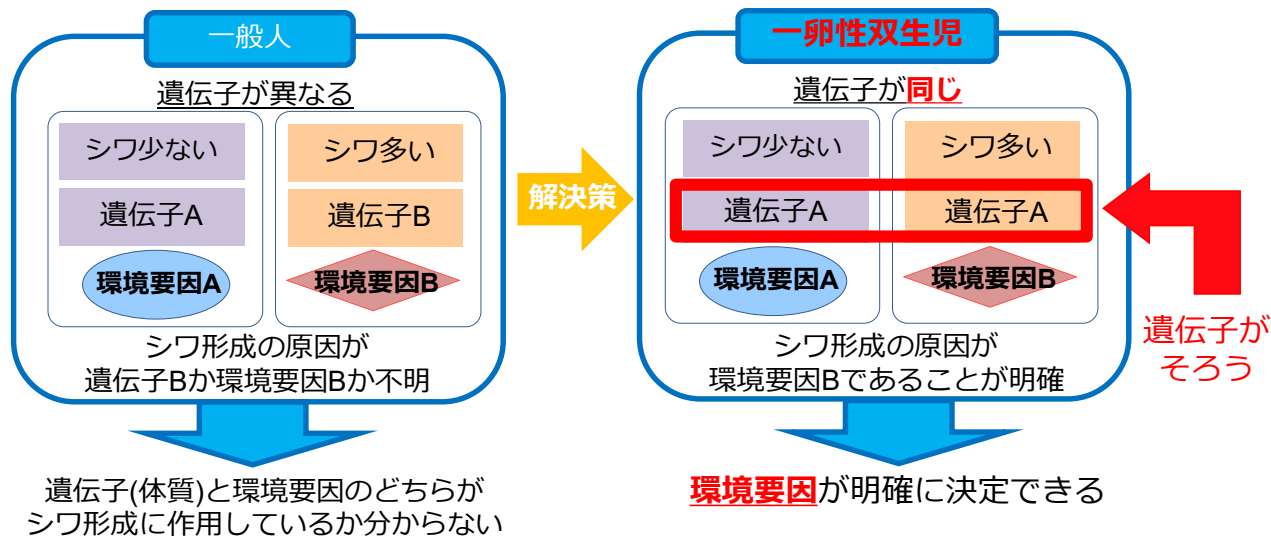
株式会社再春館製薬所（本社:熊本県上益城郡益城町 代表取締役社長 西川正明 以下、再春館製薬所）は、一卵性双生児104名（52組）を対象にした研究で、シミの増加や肌のなめらかさ、弾力の低下などを引き起こす生活習慣を解明し、本研究成果を「第20回日本抗加齢医学会総会」（2020年9月25日～9月27日）にて発表いたします。

## ■ 本研究の背景

女性のほとんどがお肌に何かしらの悩みを抱え、年齢を重ねるごとに悩みのレベルは増し、症状も変化していきます。悩みや症状の出やすさには個人差がありますが、お肌に現れるシワやシミ、なめらかさや透明感の低下などの症状は、生まれながらに持つ「遺伝的要因」と生活環境によって日々変化する「環境要因」の2つによって決まると言われています。しかし、遺伝要因も環境要因も異なる個々人を比較した一般的な研究では、どのような生活を送ると肌へ影響を及ぼすかについては解明できません。そこで再春館製薬所は、**同一の遺伝子を持つ一卵性双生児を対象にして遺伝的要因を揃えることで、肌症状を左右する環境要因の特定を行いました。**「一卵性の双子でも、大人になった姿が大きく異なる」という事象のとおり、お肌にとって良い影響／悪影響を及ぼす生活習慣を具体的に明らかにしました。

年代別 悩みTOP5

	20代 (N=119)	30代 (N=285)	40代 (N=510)	50代 (N=525)	60代 (N=210)
1位	ニキビ・吹き出物(55%)	シミ・そばかす(58%)	シミ・そばかす(63%)	たるみ(59%)	たるみ(60%)
2位	毛穴の開き・黒ずみ(50%)	毛穴の開き・黒ずみ(52%)	たるみ(50%)	シミ・そばかす(56%)	シワ(57%)
3位	乾燥(47%)	乾燥(49%)	シワ(45%)	シワ(50%)	シミ・そばかす(49%)
4位	シミ・そばかす(34%)	ニキビ・吹き出物(35%)	毛穴の開き・黒ずみ(34%)	ハリ・ツヤのなさ(24%)	ハリ・ツヤのなさ(24%)
5位	目の下のくま(21%)	たるみ(34%)	乾燥(34%)	乾燥(26%)	目の下のくま(18%)

出典： <https://kirei-lab.jp/archives/6240>

## ■ 本研究の方法

- ①対象被験者：一卵性双生児104名（52組）※外科的処置の実施者または不明者（未回答）を除外した25組を最終対象者とした
- ②アンケート：生活習慣に関する77項目
- ③肌評価：顔面部のシワシミの画像解析、肌色、水分量、粘弾性、なめらかさ

## 本件に関するお問い合わせ

株式会社再春館製薬所 熊本県上益城郡益城町寺中1363-1 <http://www.saishunkan.co.jp/>  
 本社 広報 江河真喜子 080-4458-2341 (担当直通) [m.egawa@saishunkan.co.jp](mailto:m.egawa@saishunkan.co.jp)  
 TEL：096-289-4444 (代表) FAX：096-289-6000

## ■ 本研究の結果

シミ形成を抑える上で重要な生活習慣は、「運動習慣を持つこと」「急激な体重増加を防ぐこと」だと判明しました。今回の77項目の一般的な生活習慣に関するアンケートからは、シワと有意な関連を示す環境要因は見出されませんでした。一方でシワの数、面積、総体積が双子のペア間の差が年齢を重ねるごとに増大（シワの数に差が出てくる）することから、若い時期からの化粧品などの対応の違いによる可能性も示唆されました。その他、深夜業に従事する人はデイトIMEで働く人よりも肌のなめらかさが低いこと、運動歴の無い人は、有る人に比べ、肌弾力が低いことが確認されました。

### 【シミ形成を有意に予防できると考えられる環境要因】

- ・運動習慣を持つ
- ・急激な体重増加を避ける

### 【肌のなめらかさに影響を与えるとされる環境要因】

- ・深夜業に従事する人は、デイトIMEで働く人よりも肌のなめらかさが低い

### 【肌弾力に影響を与えるとされる環境要因】

- ・運動歴の無い人は、有る人に比べ、肌弾力の低さが確認された

### 【シワ形成を予防できる要因】

- ・若い頃からの化粧品などでのケア

## 運動とシミの関連



※種類問わず、週1回以上の運動を1年以上継続

## ■ 様々な角度からお肌をサポート

再春館製薬所は天然由来の成分にこだわり、自然の恩恵を享受して商いを行う企業として、年齢肌のためにその時代にできることのすべてを込め、ドモホルンリンクルを進化させ続けてきました。お客様のお悩みのもとがどこなのか、その取り巻く環境はどういう状態なのかなどを症状をもとにその原因をとらえ、お悩みを解決するための最適なアドバイスを行っています。お客様お一人おひとりに寄りそい“100年キレイをかなえていく”ためのお手伝いをすることが私たちの使命だと考えています。

今後も製薬会社の技術や最新の皮膚科学研究も積極的に取り入れ、常に進化と深化を追求するドモホルンリンクルに、どうぞご期待ください。



### 本件に関するお問い合わせ

株式会社再春館製薬所 熊本県上益城郡益城町寺中1363-1 <http://www.saishunkan.co.jp/>

本社 広報 江河真喜子 080-4458-2341 (担当直通) [m.egawa@saishunkan.co.jp](mailto:m.egawa@saishunkan.co.jp)

TEL : 096-289-4444 (代表) FAX : 096-289-6000